

# 令和元年度 第1回富谷市行政改革懇談会 会議録

日時：令和2年2月25日（火）午後2時から午後4時まで

場所：富谷市役所3階 305会議室

出席委員：委員7名

富谷市：市長，副市長，教育長

事務局：企画政策課長，行政改革推進室長，同室長補佐，同主幹2名

オブザーバー：企画部長，総務部長，市民生活部長，保健福祉部長，経済産業部長，教育部長

## 1 開会（司会：企画政策課長）

## 2 開会挨拶（若生市長）

皆さん、こんにちは。本日は大変お忙しいところ、令和元年度第1回富谷市行政改革懇談会にご出席を賜りましたことに、心から御礼を申し上げます。また、日ごろから市政に対しまして、ご支援・ご指導を賜っておりますことに、改めて心より感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの問題で、連日、国をあげて取り組んでおりますが、世界中が今、危機的な状況となっているところでございます。幸い、宮城県におきましては、感染者が発生しておりませんが、本市におきましても、1月末から県のご指導をいただきながら対応してまいりまして、2月に入り早々に対策本部を設置して、日々様々な取組と警戒態勢を取っているところでございます。昨夜、国の専門家会議の中で示されたように、ここ1、2週間が感染拡大の瀬戸際という話もありましたので、この期間は、本市としても警戒態勢を取っていくことを今朝の庁議でも確認したところであります。

さて、本日の行政改革につきましては、最初に委員の皆さんと一緒に取り組んだのが、平成29年7月21日でした。当時、富谷市は平成28年10月10日に町から市になったばかりで、その市制施行に併せて、市になることが目的ではなく、どんな市を創っていくのが大切だということで、市制施行の準備を進めながら、市民の皆様のアンケート調査や地区懇談会をしながら、総合計画を策定させていただいたところでした。

富谷市誕生とともに、新たな総合計画のもと、富谷市の歴史がスタートしたわけでございますが、併せて、施策にしっかりと対応するためには、やはり財源が健全でなければいけません。当時の財政状況は、委員の皆様も記憶にあるかと思いますが、富谷市の財政も、他の全国の自治体から比べれば悪くはないとはいえ、義務的経費が上昇する中で、厳しい状況になっていたということでございます。見通しにつきましても、市債は右肩上がりの増加傾向、基金残高は右肩下がりの減少傾向というのが、その段階で明らかに示されたところでした。それを機に、ここでしっかりと行革に取り組まなければ、総合計画の実現はできないだろうということで、職員一丸となり、委員の皆様のご意見を賜りながら、取り組んでまいりました。

まず、平成29年度の1年度をかけて、すべての事業の見直しを行い、基本方針、実施プランに基づいて、平成30年度から行革に取り組んで、2年が経過するところでございます。おかげさまで、本日の会議の中でも報告をさせていただきますが、市債は当初増加傾向が減少し、特に臨時財政対策債は4年連続で圧縮することができましたし、当初予算というのは、財政調整基金を繰入れして組むのが地方自治体

の日常の編成なのですが、富谷市におきましては、財政調整基金を減らさないということを肝に銘じて、行革とともに、財政調整基金からの繰入れを行わずに、平成30年度の当初予算を編成しました。今年度も2年連続で、繰入れなしで編成を行うとともに、さらに無駄をなくし、市民の皆様のご理解をいただきまして、基金は過去最高の残高となってきたところでございます。

今後も気を緩めることなく、来年度は実施プランの3年目にあたるわけでございますので、しっかりと当初の目標を達成に向けて取り組みながら、持続可能な健全財政に取り組んでいきたいと考えておりますので、本日は忌憚のないご意見をいただき、引き続きご指導を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 委員・事務局紹介

※各委員から自己紹介ののち、司会から事務局の紹介

### 4 議事

※委員の互選により、座長には草間委員（東北福祉大学特任教授）が選任された。

※行政改革懇談会開催要綱第5条の規定により、ここから座長により議事が進行された。

#### 【草間座長あいさつ】

改めて、よろしくお願いいたします。

私は、大学で福祉行政各論・総論といって、公務員を志望する学生のゼミなどを担当しています。富谷市さんからは、市長のお計らいで、職員の方にお越しいただいて講義をいただきまして、ありがとうございます。現場の方の生の話を聞くと、学生も身が入ってきます。本当にありがたく思っています。

先ほど、市長のお話にありましたように、みなさんのおかげで、行財政改革の取組がかなり数値化できているという印象を持ちました。これも若生市長の財政的な体力のあるうちに、きちんとやっていくという、先見の明、手腕だろうと思っています。

富谷にずっとお住まいの方にとって、近年の歳出が膨らんでいる印象があるのは、おそらく、合併をしなかったという経験があると思います。合併をしないと、かなり歳出を抑制してやっていきます。単独でやってきたので、おそらく、歳出を抑制してやってきたのだと思います。これが合併をすると、相手方に合わせなければならない事情もあって、歳出が膨らんでしまいます。

富谷の場合には、単独でやってきたという中で、町から市になると必置義務が出てきます。例えば、福祉事務所の設置などで、こういったことで行政需要が膨らんでいきます。そういう中でも、歳出をいかに抑えていくかということは、市長はじめ、職員の方々のご尽力のおかげだなと思っています。

今日はいろいろと成果が出ておりますが、皆さんでいろいろなところを見ていただき、アドバイスをいただいて、先進的な行財政のモデルの自治体になるように、ご協力をいただければと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【議事】行政改革実施プランの取組状況について

(草間座長)

それでは、議事に入りたいと思います。事務局より一括して説明をお願いします。

## ※事務局より資料1から資料3に基づき説明。

(草間座長)

ありがとうございました。資料3については、時間があればやりたいと思います。メインは、資料2でございまして、全部で38本ありますので、少し時間がかかりますが、一つひとつご意見をお聞きしたいと思います。

### **【1. OJT（職場内研修）の充実】**

(成田委員)

研修のメニューについて伺います。併せて、No. 24にありますように、クラウドを使ってシステムを作られてきたということですが、それがすべて職員の業務に繋がっているかということ、予算の関係上、難しく、実際はエクセルとか、そういったものがたくさんぶら下がっているのではないかと、思いますが、まずは現状としてどのようになっているのか、お聞きしたいです。

というのは、普通の行政の職員がどこまでICTについて専門性を保てるのかは、目標とするレベルが必要で、課の中にそういった人材を何人置いておくのかということが戦略的に必要になってくると考えております。エクセルの研修などをしっかりしていかないと、前任者が作った後でも引き継がれず、そのままになってしまうことがあります。効率性を追求していく中では必須だと考えておまして、そのあたりはどうなのかなということでございます。

レベル感としましては、例えば、滞納者を整理するという場合でしたら、アクセスを使えるとか、マクロを組めるということ、そういった具体的なレベルをもってやれるかということ、この戦略の中に取り入れてはどうかと思っています。

(草間座長)

研修のメニューについてと、エクセル等についてのアウトカムのようなものがあるか、ということですが。現在取り組んでいることをお答えいただければと思います。

(小嶋主幹)

研修メニューですが、年間を通した研修計画を策定しています。エクセル研修は、市役所内での個別研修は行っておりません。市町村職員研修所でワード、エクセル、アクセスといった年間を通した研修を行っていますので、全課に周知し、希望の職員を派遣しています。

各所属でのエクセル、ワードのスキルについては、得意・不得意はあると思いますが、前任が使ったものをより良いものに改良しながら、使っていくというスタイルをとっています。

(成田委員)

ありがとうございます。ぜひ、アクセスぐらいは必ずできるレベルを保っていただいて、何人かいれば、担当が分からなくても指導ができるといったような体制が必要かと思っています。希望する職員を行かせているということでしたが、一歩踏み込んで、何名をどれぐらいの期間で育成していくのかという具体的な数字というのをご期待したいと思います。

**(草間座長)**

戦略的に標準装備とされたらどうかということだと思います。

**(佐藤洋生委員)**

今、県でも職員の働き方改革ということで、ICT関係のツールをいろいろと試しています。RPAなどの新しい技術が出てきていますので、活用できないかということで、実証実験などをやっていますが、その中で、やっぱりエクセルというのを、もう一度見直す必要があるのではないかという動きになりつつあります。職員の中でもエクセルに詳しい者がいますので、基礎コースやマクロコースなどの研修を内部講師で行ってきました。来年度からは、公務研修として、エクセル研修を久しぶりに復活するということになりました。最近の学生さんが、エクセルなどを使う機会もあまりなく、エクセルを知らない学生が県庁に入ってきているというのが最近の傾向としてあるのかなということ、成田委員がおっしゃったように、前任がエクセルに詳しくて残していくが、後任が全然分からなくて修正し切れず、うまく使いこなせないケースも出てきているので、エクセルの活用にも再度注目するというのも必要なのかなと思っております。

**(草間座長)**

そういった県の取組を市町村に説明会とか、市町村にフィードバックしていただけると良いと思います。行政規模が大きいとスケールメリットがありますが、市町村だとフルタイムで業務もたくさん行っているの、あれもこれもとは難しいのですが、そういったものがあると、初期コストがかなり省略できますので、ぜひ提供していただけると良いのかなと思います。

それと、先ほどの件ですが、全てには難しいので、どの層に標準装備させるかということ、業務の効率化の最低限みたいところを、今のご意見を踏まえて検討いただければと思います。

成田委員から何かご意見はありますか。

**(成田委員)**

前例踏襲したときに、法制度とエクセルの内容が合っているかどうか、ということが検証できずに数値になったり、事業になってしまったりすることが怖いことだと思っています。内部統制上、それは大きな不備となってしまいますので、今お話しいただいた形で、標準装備していただくということが大事なので、効率化だけではなくて、行政課題に対する解決にならないような、若しくはやり直しになってしまうような、非効率なミスが出てしまう可能性もあるということをご検討いただければありがたいなと思っております。

**【2. OFF-JT（派遣研修）の充実】**

**(草間座長)**

印象としては、大学や各団体への派遣など、かなり取り組んでいらっしゃると思っています。できれば、やっぱり自治大学校に派遣してもらえたら良いと思います。特に良いのがネットワークです。市長や上司からの指示事項があつて、分からない案件があると、大学校で一緒だった同期仲間に照会を行ったりしています。高萩市で派遣された職員は、毎年集まりを持ち、情報交換を続けております。これは良いことです。毎年職員を派遣して良かったと思います。県内ですと、県のネットワークはできますが、全国的な

ものとなった時にひとつの仕掛けとなります。毎年が難しければ、3年に1回でも良いのではないかと思います。

**(平岡委員)**

県やいろいろなところに出向するのも結構ですが、任期途中で帰ってくるというケースを今までも聞いたことがありました。出向するのであれば、本人の体調などもいろいろあるとは思いますが、選び抜かれた、しっかりとした人材を出していただきたいと思います。

**【3. 適正な公文書管理の実施】**

※意見なし

**【4. 事務処理マニュアルの作成推進】**

※意見なし

**【5. 窓口民間委託の検討】**

**(平岡委員)**

富谷市の窓口は、とても対応が良いです。民間になったから変わるわけではないとは思いますが、あの窓口は富谷市の顔となりますので、民間委託を検討する際には、その点も考慮していただきたいです。

**【6. 市立幼稚園のあり方の検討】**

※意見なし

**【7. 学校給食センター民間委託の検討】**

**(佐藤洋生委員)**

委託業務のモニタリングを行いながらということですが、ニュースなどで見聞するのは、他の自治体で民間委託して、給食が冷たくなったとか、美味しくなくなったということで、子どもたちが気の毒だと思っております。県だと来年度から内部統制というのを地方自治法に基づいてやらなければいけないことになっております。その中でも委託については、しっかりと実態を把握するようにという動きになっておりますので、民間に委託すること自体はよろしいかと思いますが、いかにモニタリングをしてレベルを保っていくかということ、指導監督を行っていくかということが大事かと思っておりますので、しっかりやっていたら良いのかなと思います。

**(草間座長)**

行政でモニタリングを行う時には、数字、エビデンスを取っておくということが大事だと思います。例えば、クレームであれば、どういうクレームが多いのか、冷たいとか、汚れているとか、これをきちんと数値化しておくと、次の入札の時に排除でき、品質改善につながっていきます。要は、質の担保をどう図っていくかという話で、そのあたりはエビデンスを取っておくことよろしいかと思っております。それを次の仕様書に書き込んでおく、クレームが多い場合には年度途中でも見直しを検討するなども、書き込んでおくの

も良いかもしれません。

## 【8. 総合運動公園指定管理者制度導入の検討】

(草間座長)

これは大変難しいと思います。仙台であれば、榴岡公園をパーク PFI ということで、進めています。キャパシティがあるところだと、広告の市場性が発生しますが、それが無い場合は、なかなか難しいので、これはおそらく担当課の方で同類型のものの先進自治体の事例を調査されると良いのかなと感じました。

## 【9. PPP/PFI 制度の研究】

(佐藤忠行委員)

ご紹介を兼ねてお話をさせていただきます。「みやぎ広域 PPP プラットフォーム」は、過日、市長にもご出席いただき、設立いたしました。今後の人口減少などにより、自治体の財政運営が厳しい局面もあろうかと思えます。いろいろな面で民間の活力を生かして、資金力並びに地元の民間企業のノウハウなどを集約して、各自治体の課題解決に向けて取り組んでいこうというような目的で、走っております。富谷市におきましても、今後のスイーツステーション計画などもあろうかと思えますが、七十七リサーチ&コンサルティングというグループ会社もありますので、PPP・PFI 等の事業について、できるかどうか、何が有効かということになると思いますが、そういったところも全面的にバックアップさせていただければと思いますので、お問い合わせいただければと思います。

(草間座長)

こちらについては、東洋大の根本祐二先生にアクセスしてもらえると良いと思います。元々、PPP は PFI から始まっていて、イギリスが発祥です。根本先生は、指定管理者制度やコンセッション方式など、指定管理者の制度設計のメンバーになっておられました。刑務所の PPP に関しては、以前は全て丸投げしていたのが、ここ 10 年の PFI のノウハウ蓄積によって、民間委託に即した事業と、そうではない事業があるという第 2 弾のフレームに入っています。先端知や専門知を持っているのが研究者だと思いますので、うまく繋がっていくと良いのかなと思います。

## 【10. 組織体制の検証】

(村上委員)

資料を拝見して、どんどん進んでいるので、素晴らしいなと思っているところです。

こちらの項目では、具体的には、ジョブローテーションや複線型人事管理などをしていき、それによって、職員の適材適所を図っていくということだと思いますが、年度評価の書きぶりが実施概要の目的と違って、時間外労働の削減の方に走っていつているのではないかなと思いました。時間外勤務の削減はもちろん大切なことだと思いますが、目標との繋がりがよく分からなかったなので、お聞きします。

(草間座長)

今の件について、事務局から補足説明あります。関連性が分かりにくかったということですが。

### (西山室長)

こちらにつきましては、まず、期待される効果を図るために、各部課長のヒアリングや、全職員を対象にしたアンケートを取って、今後の複線や単線の人事に向けていくというところで、取り組んでいるところでございます。

今お話のあった時間外の部分については、付随する部分になります。職員体制を強化するためには、必要な休息時間もありますので、ワークライフバランスを図りながら、組織体制も強化していきたいというところで、まとめさせていただきました。

### (村上委員)

職員さんの役割と給与の関係もそうですが、仕事のポジションが大きくなると給与が高くなるのか、その目標設定がどう上長とすり合わせていくのか、そこで自分の適性を上長と話し合いながら、目標を設定して、それがやる気に繋がっていくのだと思いますが、みなさん生き生きと仕事されているので、問題ないかと思いますが、そのあたりを進めていただけたらと思います。

### (草間座長)

去年10月1日に、大阪府寝屋川市が日本の自治体で初となるフレックスタイムを導入した事例があります。神戸市では、キャリアパス、課長になる年齢を3年とか5年下げたという例です。民間と行政が違うのは、キャリアパスを上手く描けない、描きにくく数値化しにくいという面がありますが、先進自治体では、キャリアパスなどを提示することによって、職員のモチベーションを上げていくということを行っています。

それから、業務管理又は経営学的な生産管理を行うと、業務によってボリュームがありますので、いつ残業が増えるかというのが分かります。これを埋めるために、マンパワーの投入量をどう調節するかとなると、フレックスタイムの導入は、そういう意味では、業務量オーバー分を柔軟勤務で吸収できると思います。

他によろしいでしょうか。

### (品川委員)

時間外勤務命令の件ですが、取組内容のところ、「事前決裁の徹底の周知」と記載されていますが、職員数が足りていないという前提の中で、徹底を周知して、どこまで実効性があるのかというところを厳しく見ていく必要があるのではないかと思います。特に若い職員は、なかなか言いにくいところもあるかと思っています。自分の仕事の進め方が遅いのではないかと思って申請しないとか、そういう場合もあると思います。例えば、職員が定時よりも遅れて帰って、事前決裁が出ていないという場合は、第三者の立場がチェックしていかないと、時間外労働ではありません、となってしまうので、実効性がなくなる恐れがあります。とりわけ、職員数が少ないという認識は変わっていないと思いますので、徹底の周知にとどまらず、徹底していただきたいと思います。

### (草間座長)

具体的に残業が減った事例があります。イントラネットで、各部の残業時間を部長の画面に表示させた

ということです。部長が課長を査定して、課長が各課員を査定し、業務管理をしなければいけません。可視化することで成果が出てくるということをやっています。

今の話は周知徹底をきちんとして、漏れなくということになりますが、このような事例もありますので紹介しました。

## 【11. 外部人材の有効活用】

### (草間座長)

MaaS（マース）、これは、どういうふうに最適な移動手段を図っていくかという取組です。先日の日本経済新聞「経済教室」で連載をしていましたが、マースの具体化は大きな課題です。役所においてマースの事例研究も併せてしていただければと思います。

※「MaaS (Mobility as a Service) ……出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに 1 つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

(出典：国土交通省 [https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000089.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000089.html))

## 【12. 市政懇談会の開催】

### (平岡委員)

この会議には、三役、部長さんに来ていただいているのに、参加者が少ないこと自体が問題ではなくて、その内容です。住民の意見を聞くのは良いのですが、聞いたからには皆さん期待してしまうので、何でも要望したらやってもらえるというような感じが問題だと思っています。要望を 6 つも 7 つも出すところもあります。本当に最優先するところ 1 つをやっていくというかたちにしないと、本当に大変ではないかと思っています。

行政区長や役員は他の場もありますので、もっと一般の方が参加できるような会になれば良いのですが、なかなか難しいことも理解できます。今後も続けていくのでしょうか。

### (市長)

委員がおっしゃるように、懇談会は市民の皆様に来ていただいて、取組を説明して、ご意見をいただくという場なので、市民の皆様が参加しやすい場所や開催時間の工夫などはしていますが、なかなか周知不足もあるのかなと思っています。ただ、粘り強くやっていくことが大事だと思っています。

## 【13. わくわく市民会議の開催】

### (佐藤洋生委員)

先ほどの市政懇談会とも絡みますが、どちらかというと「静」の市政懇談会と「動」の協働型のわくわく市民会議となるのかなと感じています。市民会議の方では、参加者の満足度が高かったと書かれています。要望も大事だと思いますが、一緒になってまちづくりをやっていくという方が、市民の関心が高いのかなと感じました。



#### 【14. まちづくりの基本となるルールの策定に向けた調査・研究】

※意見なし

#### 【15. 審議会等における多様な視点の整理】

※意見なし

#### 【16. パブリックコメント制度の継続実施】

(草間座長)

これは数字を入れたほうがいいと思います。数字の設定がいいかどうかは別ですが、市民の方の意見の数ですので、意見の有無や多寡は仕方ないと思います。

#### 【17. 協働による公共施設の維持管理の推進】

(成田委員)

今回、泉松陵高校が舞台となった「弥生、三月 -君を愛した30年-」という映画が公開されます。桜並木の素晴らしい風景で撮影がされています。こういった市民のみなさんが管理されている場所を、ドラマやフィルムコミッションに市から繋いでもらえたりすると、また一歩踏み出せるのではないかと思います。少しでも映ったということで、みなさんとても喜んでいらっしゃるのも、もし、そういうことがあるのであれば、ご検討いただけたらと思います。

#### 【18. 共に支える地域づくりの推進】

(平岡委員)

今、街角カフェへの補助金は8万円ですよ。今は2か所くらい予定の場所があると思いますが、これは居場所づくりのためには確かに良いと思いますが、会館以外の場所に引きこもりを解消するために場所を設けるということは良いのですが、町内会によっては助成金がもらえるならやろうか、という考えもなくはないと思います。目的は、引きこもりをなくすためなのですが、そういう目的だけではなくて、取りあえずやってみようかという気持ちでいられると、助成金が今より少なくなった時に心配しています。ゆとりすとサロンは良いと思いますが、街角カフェに関しては、人が集まってコーヒーを飲んで終わりというだけでは、助成金に対する成果が見えないと思っています。街角カフェが増えて、助成金が少なくなった場合には、運営が立ちいかなくなると思っています。助成金がもらえるからやろうではなくて、引きこもりにならないように、やりましょうかというなら良いのですが、このところを慎重に、決めるときにきっちりとした説明をしていただくと良いと思います。

(市長)

街角カフェは、地域の居場所づくりという考え方です。引きこもりの方に限定しているわけではなく、子どもからお年寄りまで世代を超えて、特に男性の高齢者の居場所づくりということで、モデル事業から始めています。今いただいたご意見については、常に注意をしながら、しっかりとやっていきたいと思っています。

(草間座長)

今、厚生労働省で大きな課題になっているのは、「8050 問題」です。80 代の親が 50 代の引きこもりの子の面倒をみているという問題です。これが潜在化しているという中で、今の街角カフェの制度の中にいろいろな人が来ることで、アンテナになるというのもひとつあるのかなと思います。

## 【19. 自主防災組織の育成推進】

(成田委員)

富谷市の場合は、防災に関して、例えば沿岸部などからの避難者の受入自治体になっているのでしょうか。災害が発生したときに、自分のところは被害が無かったとしても、避難者をどう受け入れていくかという受け入れ態勢の整備というところも、この中に入ってくるのではないかと思います。市民としては、そこをどう考えていくかということも、成果としてご期待申し上げたいなと思います。

(草間座長)

こちらに関しては、良いプログラムがあります。東北福祉大学で防災士研修というのがあります。高萩市では全職員に取得してもらいました。自主防災組織の方でも希望すれば受講可能としましたが、防災意識の向上が見込めます。通信教育のレポート提出が課せられ、ちょっと大変な点もありますが、自主防災組織の体制整備後のテコ入れとしてご検討いただければと思います。

(成田委員)

大事なものは、市民がどういった感情を持って受け入れるかということです。個々の技術はもちろん大事なのですが、市民として、来た方々を学校現場などにどう受け入れるか、という市民の議論が必要なのだと思います。

(草間座長)

日常から、協定を結んだ先との交流をしておくことで、受け入れやすくなることもありますね。

(市長)

近隣の自治体が被災した場合には、本市で何百人の受け入れをしますという、協定を結んでいます。実際に避難者が来た時に、各地元の受け入れ態勢が取れていないと、というところの懸念だと思います。そこは大事なところですので、しっかりと確認して、自分たちの身を守るということが今は主になっていますが、ご意見の場合の態勢も整えていくことも考えていかなければなりません。

(成田委員)

教育現場においても、東日本大震災の時に福島から来た子どもが、いじめられたというようなことがありました。いじているつもりはないけど、言った言葉がいじめに受け止められたとか、センシティブな部分がありましたので、そこは教訓として、どう受け入れていくかということもあるかと思っています。

## 【20. 市ホームページ・SNSの充実】

(佐藤洋生委員)

ホームページをはじめ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINE と幅広く活用されていて、素晴らしいなと思っておりました。

先日、私の自宅にこういうものが入っていました。(※フリーペーパー提示)

こういうものが入ってくると見ますし、実際にお店に行ってみたりもしています。こういったアナログの媒体も一定の役割を果たしているのかなと思っているので、民間さんが努力して、富谷市の情報発信をしてくれているので、情報発信の媒体として活用しても良いのではないかと思います。

(草間座長)

多面的な利用、使えるものは使っていかうということですね。

私からは、富谷で一番伝えたいものは何か、ということの問題意識を持ってもらって、何を伝えていかうということ。アクセス数だけ増えるのではなくて、例えば、シティブランディングの面で考えると、富谷にはスイーツがあります。あとはブルーベリー、来年度だと宿場町など。あのような特化したものの「イイネ」を増やしていくと、もっとセグメントされて良いのではないかと思います。数字だけだとなかなか厳しいですね。そういった視点があると、職員の方も良いのではないかと思います。

## 【21. 市広報紙の充実】

(草間座長)

ある自治体の事例になりますが、電通パブリックリレーションズとコラボして市報を作っています。ポイントは、市民が参加できる仕掛けを作っていることです。なかなか一般の方には読まれにくいですが、読んでもらえるような紙面作りを展開していますので、事例として参考にしてもらえたらと思います。

## 【22. WI-FI 環境の充実強化】

※意見なし

## 【23. 情報公開の積極的な推進】

(品川委員)

取組内容の部分ですが、議案書や図書館プロジェクトなどをホームページに掲載したとあります。議案書については、私も必ず議会のたびにチェックして、議案の内容を確認しています。こちらに在職中は法務担当をしていましたが、私が見ても改正内容がどういう趣旨で、どういう目的で改正を行うのかというのが、分からないことがあるので、もう少し補足情報をいただくと、市民としても分かりやすいのではないかと思います。議案書だけだと、ほとんど説明がありませんので、決裁時の説明資料の抜粋でも構わないので、補足していただくと、ありがたいです。議会を傍聴するにあたって事前に情報があるのではないのでは、理解度も違ってくると思いますので、よろしくお願いします。

(草間座長)

ポイントを絞って改正内容を説明して欲しいということですね。高萩市では上程議案には提案理由を

列記しておりました。自治体によって運用が異なりますので、ひとつのご意見として賜ればと思います。

#### 【24. 基幹系システムのクラウド化】

※意見なし

#### 【25. 公共施設総合管理計画の推進】

※意見なし

#### 【26. 統一的な基準による地方公会計の整備】

※意見なし

#### 【27. 事業見直しによる歳出抑制】

(成田委員)

歳出抑制をして、目標を達成してしまったという、とても素晴らしい成果がありますが、これに対する役所の雰囲気はどうだったのでしょうか、明るくなったのか、きつかったのか、職員の負担感というのはどうだったのでしょうか。

(松原企画政策課長)

こちらにつきましては、全庁的に目標が示されましたので、それに向かって各部局で取り組みました。これまでやってきた事業を一から見直すという作業でしたので、その過程で、受け止め方については様々あったのだろうとは思いますが、ただ、全庁的な目標が示されましたので、そこは各部長のもと、各課取り組んだということでございます。

(市長)

最初は、すごく厳しかったです。目標を掲げたものの、1回目には、到底目標額をクリアできないような数字があがってきて、そこが一番気合を入れた瞬間だったと思います。これでは行革なんてできないよ、という話をした後に、もう一度みんなが必死になって取り組みました。最初は本当に苦しかったと思います。特に料金の見直しや補助金の改正など、市民の皆様に痛みを求めるものもありましたので、かなりきつかったと思いますが、ここまでやり遂げてきたという部分は、全体として達成感というのはあるかなと思います。これをやり遂げたことで、次の新規事業に向けて、積極的に取り組めるということは大きかったかなと思います。

#### 【28. 各種団体への補助金の適正な支出】

※意見なし

#### 【29. 各種広告掲載の実施】

(草間座長)

教育委員会関係は、児童生徒の家庭に文書を出すことが多いと思います。ここや各課の封筒で何かでき

る余地はないかなと思っています。

### 【30. ネーミングライツの実施】

(草間座長)

富谷市におけるネーミングライツは広告効果が小さく、広告を受託する可能性が低くなるので、ちょっと難しいですね。仙台市のようなメガシティとは違うやり方が求められます。広告主の声を聞いて、料金を決めてやってみたらどうかと思います。あるいは、ネーミングライツはいろいろなので、あるものに対して名前を付けるということなので、建物だけじゃなくて、いろいろなものに名前を付けてもらうとかですね。ここは難しいとは思いますが、一緒に考えていければと思います。

### 【31. ふるさと納税の充実】

※意見なし

### 【32. 各種使用料等の見直し】

※意見なし

### 【33. 未利用地の利活用】

※意見なし

### 【34. 不用物品売払いの推進】

(草間座長)

こちらは、インターネットオークションなど、市場を広げるということが大事だと思います。それと、大規模な集客イベントの際に、不要物品を販売すると売れやすくなるということもあります。高萩市では、市主催の大規模イベントで、学校で不要となった学習机やイスを売り出したところ、結構売却できたことがあります。参考になると思います。

(成田委員)

古紙や新聞などについては、すでに売却されていますでしょうか。

(市民生活部長)

しております。

### 【35. 効果的な基金運用】

※意見なし

### 【36. 税収安定化の推進】

※意見なし

## 【37. 私債権管理の調査研究】

※意見なし

## 【38. 企業誘致の推進】

(佐藤洋生委員)

企業誘致も非常に積極的に取り組まれているなという印象です。先ほど出てきた PPP・PFI の関係にも繋がりますが、ぜひ市内に立地している企業さんの支援、特に技術力の向上のようなものに積極的に取り組んでいただければと思います。PPP・PFI をやろうとすると、市内の事業者さんが排除されてしまうことがあり得ると思います。例えば、市内企業が応募してきた時には、配点を高くするなど、意識的にやらないと、市内の企業さんが漏れてしまうということにもなりかねないので、そこへの意識を高めていただきたいということと、そのためには、技術力の向上の支援が必要ではないかと思いますので、そういうところに取り組んでいただければいいのかなと思います。

(草間座長)

富谷独自でビジネス交流会をされたということですが、具体的にはどういう構成になっていますか。

(市長)

2部構成で行いました。市内立地企業の皆さんにご参加いただいて、第1部では、行政の取組や支援の説明と希望企業からの PR タイムを設けて、第2部は懇親会という形を取りました。

(佐藤忠行委員)

銀行も近隣支店を含めて参加させていただきました。

銀行としても企業誘致ということも絡みますし、ビジネスマッチングも行ってございまして、昨年開催しましたところ、富谷市さんは非常に注目されている市でもありますので、かなり多くの企業さんが興味をお持ちで、盛況のうちに終了しました。今後もこういったものを開催していきたいと考えております。

(草間座長)

なかなか県内で単独でやっているところはないと思います。こういった事例はマスコミにもお知らせすると良いですね。新聞でも広く伝わりますし、新たなマッチングにも繋がっていくのではないかと思います。県庁記者クラブに、この催しを告知 FAX や働きかけを行うと良いと思います。

## 5 その他

※特になし

## 6 閉会挨拶 (西村副市長)

皆さん、長時間にわたり、いろいろなご意見を頂戴いたしました。本当にありがとうございました。行政改革実施プランは、今年度で2年度目となります。来年度が3か年計画の最終年となります。委員の皆さんからいただいた意見を参考にしながら、仕上げていきたいと思っておりますので、引き続き、いろ

いろな場面でご意見をいただければと思います。よろしくお願いたします。本日は大変ありがとうございました。

## 7 閉会